

2014 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	教職に関する科目
-----------	----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

教職科目では、91.2%（昨年度秋学期 97.2%）の実施率であった。回答率は、85.3%（昨年度秋学期 84.5%）であり、他の科目区分とほぼ同様の回答率である。

秋学期の教職科目と比較すると、全体的な傾向として、以下 3 点が挙げられる。

- (1) 学生の授業内容理解度、授業中の意欲的な活動、知的好奇心、教員の話し方、授業方法、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目はいずれも平均値 4.1 を超え、全体的にかなり高い。特に、授業時間外学習項目以外では、いずれも評点が 5 の割合が最も高く、ほぼすべての項目が 5 割を上回っている。これは、昨年度秋学期とほぼ同様である。
- (2) 授業時間以外の学習時間は、0.63 時間であり、全学平均(0.67 時間)よりも低い。内訳として、0 時間が 35.4%(昨年度秋学期 32.2%) 30 分が 33.2%（昨年度秋学期 32.2%）となっている。昨年度秋学期とほぼ同じ傾向を示すが、教室以外での学習時間が少ない傾向が読み取れる。
- (3) DWCLA10 の選択率は、思考力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、分析力がそれぞれ、60.7%(昨年度秋学期 59.9%)、40.6%（昨年度秋学期 40.7%）、34.1%(昨年度秋学期 32.2%)であった。昨年度秋学期とほぼ同じ傾向を示している。

以上、教職科目は、昨年度秋学期とほぼ同じ傾向を示している。授業時間以外の学習時間が少ない所が気になる。引き続き、Active Learning や質の高い教師を育成するための取組を実施してほしい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター